

提供プログラムの事例紹介



日常の活動で、もっと保護者が子どもとふれあうように取り組めないか・・・と以前から思っていました。活動の担い手がなかなか見つからないという悩みを打開するためにも、「原点」に戻って、子どものために汗を流す活動、保護者が楽しく参加できる活動を新しく考えたいです。

分野③Ⅱの場合・・・こんな声への提案プログラムです！

□研修プログラム：「子ども体験活動企画お助け会議」
□指導する講師：NPO 法人 日本アントレプレナーシップアカデミー(JAE)

1回～3回連続型
各90分

内 容		手 法
1回目	<ul style="list-style-type: none"> ○アイスブレイク「Good & New」の共有 ○子ども体験活動のワクワクとは？～現状の洗い出し ○全国の他の地域ではどんな活動を？～事例紹介 ○地域のこどもの課題、保護者の想いの出し合い 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介ゲーム ○ブレインストーミング ○事前に下調べした情報の報告 ○KJ法による課題探しと集約 ○グループによる話し合いと集約 ○課題発見ゲーム ※準備物 ポストイット、 白い紙(A3,A4 サイズ)、筆記用具、名札
2回目	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもに必要なこと、子どもができることの検討 ○地域の資源、地域の人材の発見 ○連携や相談先についての情報集めの相談 ○活動の立案に向けての集約 	
3回目	<ul style="list-style-type: none"> ○連携や相談先についての報告 ○具体的な活動の立案作業 ○参加者全員での活動プランの確認 	

研修プログラム参加者の後日談！

研修プログラム参加者から出たいろいろなアイデアを集約し、子どもと保護者がスタッフとなり、新しい活動プランとして「ちょっと自慢のKids'カフェ」を開いてみることにしました。子ども達の地域でのボランティア体験の機会にするねらいもあり、保護者は応援役に回り、子ども達がカフェ運営の中心となるように考えました。「地域子ども体験プログラム」の「子どもクッキング」講師からの指導をプランに盛り込み、また地域のカフェオーナーとベーカリーの協力を得て、自慢のメニューが出せるよう工夫しました。